

災害支援ボランティア募集

被災者のために貴方の力を貸していただけませんか



笑顔の似合うボランティア仲間を募集しています

平穏な日常を根本から破壊するような大規模災害が、毎年発生するようになった日本。報道されなければ目にもつかない。住む地域が違えば関心さえ持たれない。そして時間が経てば災害の記憶さえ消されてしまう。

被災された方々は、**不安や生きづらさの中で今も懸命に暮らしています**。

災害ボランティア愛知人は、昨年では福島県桑折町、新潟県村上市、静岡県静岡市。今年では石川県珠洲市、静岡県沼津市、愛知県岡崎市、山口県美弥市へと災害支援のボランティアに入っています。

被災地で一緒に活動していただける消防の仲間を探しています。

消防吏員が災害支援ボランティアに向いている要素

接遇力

災害現場で傷病者と向き合っている接遇力は被災者の心を守る

知識・経験

災害活動で培われた知識・経験は被災地での安全な活動に活かせる

時間

ボランティアが激減する平日にも動けることで早期復興に繋がる



地震災害

ズレたり落下した瓦を修復し雨漏りから家屋を守る活動



水害・土砂災害

浸水家屋の床下からの汚泥除去・流れ込んだ土砂の撤去活動



平時での研修・講習会
家屋の模型等を使用して、地震や水害による被災後の対応について全国各地で研修を行う

愛知人 災害支援の流れ

大規模災害が発生すると、2～5日の間に赤池代表が被災地へ入り、被害状況の確認と支援の必要の有無を調査します。協定を結んでいる自治体が被災した場合は、優先的に向かいます。

支援が必要と判断すると、被災地に愛知人のベース（宿泊所）を設置します。このベースを拠点に全国各地から老若男女仲間が集結して、被災地での活動を展開します。ベースにはテレビ、冷蔵庫、洗濯機などもあります。もちろん宿泊費は無料です。

活動時間は、災害ボランティアセンターの開所と閉所の時間になっており、おおよそ9時00分から16時00分まで。休憩は、昼に1時間そして活動環境に合わせて適宜自由にとります。

活動に必要な資機材は全て揃っているので、持ち物としては、活動しやすい服装と手を守る作業用手袋そして安全靴や長靴を用意してもらえれば結構です。

朝食と夕食はベースでみんな一緒にいただきます。その他の時間は自由なので、温泉へ行ったり各々自由に過ごします。

災害支援ボランティアの利点

被災地での実情を、被災者目線や支援者目線の両方向から見て学ぶことができる。

この経験は地震や風水害などの大規模災害が発生した際の初動対応のみならず、復興段階でも活かすことができます。

東日本大震災から個人でのボランティアを続けてきた私ですが、コロナ禍で「市外からのボランティア受入れ拒否」という状況に遭い個人の活動に限界を感じ、愛知人へ入りました。

個人ボランティアの活動は、何もかもが自費です。今年5月に行った珠洲市では高速代とガス代だけで24,000円弱かかりました。

愛知人では3人以上集まって活動に当たれば交通費が支給されます。またベースがあるので車中泊することなく、体をしっかりと休めて次の日の活動に当たれます。

正直、被災地での活動は決して楽ではありません。ですが支援させていただいた被災者さんからのお礼の言葉は何よりも嬉しく。また全国各地にできる仲間の存在は、人生を豊かにしてくれます。

災害ボランティア 愛・知・人（愛を知る人）

東日本大震災直後に立ち上げたボランティア団体で、日本各地で起こりうる災害に対し、迅速に支援していくことを目的としています。

「できる人が できるときに できることをする」

年齢、階級関係なく 興味が湧いた方はご連絡ください。

一人でも多くの笑顔の似合う仲間を募集しています。

災害復旧支援隊 三河支部長



代表 赤池 博美

